

祝園 全国集会

10月19日

「私たちは二度と戦争をし
たくないー平和でこそ文化は
香り立つ！祝園全国集会」
は、10月19日、けいはんな記
念公園を会場に開かれ、石垣
島・沖縄をはじめ、全国で大
軍拡と闘う皆さんが参加、府
内各地からバスなどで駆けつ

けた2700人が、ピースコ
ンサートとリレートーク集
会、パレードでミサイルはい
らないと声をあげました。
パレードに窓から手をあつ
たり、挨拶をしてくれる住民
の姿も。「住んだときから弾
薬庫の存在は知っていたが、
毎日物々しくなる様子に心配
している」と話します。

祝園弾薬庫は、住宅や国会
図書館、企業の研究所や文化
施設が並ぶけいはんな学研都
市のすぐ隣に広がっています。
安保3文書の改訂以来の
大軍拡のもとで、敵基地を攻

撃する舞鶴海上自衛隊のイ
ジス艦に積む攻撃型のミサイ
ル・トマホークの保管基地と
して、住民の質問にも答え
ず、8月に工事を強行したも
のです。

大増強工事は、弾薬庫14棟
増設（うち8棟建設中）、分
厚いコンクリートに強化する
3000億円をかけた大工事
です。

米軍レーダー基地と一体に
すむ府内各地の自衛隊の強
靱化に、いまこそ声をあげる
ときです。

私たちは一度と戦争をしたくない！ 平和でこそ文化は香り立つ！

STOP！ザ・働きすぎ！！ 第20回 働き方を見直す京都集会

9月28日



「働き方を見直す集会」（9月28日）で
竹信さんの講演を聞く参加者

ジェンダー視点で働き方を見直す

「新時代の日本の経営から30年、財界が狙う働かせ方に抗して」

9月28日に「STOP！ザ・働きすぎ！！働き方を見直す京都集会」がラ
ボール京都で開催されました。20回目の開催を迎えた集会は、「ジェンダ
ー視点で働き方を見直す」新時代の日本の経営から30年、財界が狙う働か
せ方に抗して」をテーマにして、和光大学名誉教授の竹信三恵子さんが講
演。講演後は①職場の要求、②ハラスメント、③男女差別・ジェンダー・
非正規の3つをテーマにグループトークで学習と交流を深めました。集会
には63人が参加しました。

「政府・財界の描く働き方・ 働かせ方の将来像を斬る

—ジェンダー視点からの考察—

竹信三恵子さんの講演から

1985年に制定され
た労働者派遣法が日本の
女性労働者に係る政策の
大きな転換点だったこと
を指摘する竹信さん。1
990年代には家事・育
児関連業務を中心とした
規制緩和が進み、女性が
非正規雇用へと押し込ま
れる構造が強まっています。



グループトークの様子

で、非正規雇用や子育て
世帯への支援は薄く、物
価高、学童保育費の負担
増、日本の大企業優遇路
線と格差拡大の懸念も強
まります。

労働者派遣法制定時か
ら「夫」という家族的セ
ーフィネットのある人
を主に、女性を家計補助
的とする社会的意識が受
け入れられる土台となっ
ていったことや、安倍政
権以降は「女性活躍」と
しながらも女性への搾取
が強められ、「支援」の
対象は女性当事者ではな
く大企業とされるなど、
日本の資本主義の構造的
な歪みがジェンダー視点
から強調されました。

参加者からは、「労働
組合が現場から声を上
げ、非正規労働者の労働
条件改善に本気で取り組
むべきだ」との声が寄せ
られました。

全労協 大会

全労協は、9月28・29日、
第37回定期全国大会を東京で
開催しました。
大会にラサール石井議員
（社民党）が来賓として出
席。また大橋ゆうこ前議員も
大会に参加しました。全労連
からはメッセージが寄せられ
ました。



大会は、活動
方針などの採
択、新役員の選
出、「安心して
働ける職場・暮
らせる社会の実
現」などのメ
インスローガ
ンを確認。最後
に、渡邊洋議長
の「団結ガンバ
ロー」で締めく
くられました。

安心して働ける職場・ 暮らせる社会の実現を

実りの秋

相楽地労協 花田 善臣

告 暑にも水不足 酉にも抗し、稲

作農家の「尽力でた
わねに実った黄金色
の稲と労うように咲
き誇る紅白の彼岸
花。

場所：JR木津駅の
東側の棚田

あなたの
「押し」教えて！
Wishパシヤは今回で最
終回となります。次号か
らは「ヨミ推し活のす
め」として改め、趣味や
マイブーム、推し活の紹
介をしていただける方を
募集します。名前・所属
と合わせて、画像、タイ
トル、1000〜2000字
程度であなたの推し活を
アピールしてください。
sohno@labo.or.jpまで
お送りください。

日常のひとコマ

